

平成 26 年度

平成 27 年 3 月 13 日 第 13 号



与野八幡小だより

学校教育目標

- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

「夢と希望と感動をはぐくみ、子どもが輝く学校」 児童数 840 名

HP アドレス <http://yonohachiman-e.saitama-city.ed.jp>

E-mail :yonohachiman-e@saitama-city.ed.jp

TEL 048-854-5561 FAX 048-854-5560 所在地 〒338-0003 中央区本町東 5 丁目 23 番 14 号

## 平成26年度学校評価結果について

校長 西川 和利

本年度の「学校評価」の結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

「学校評価」の目的の一つに、評価結果を公表することにより家庭・地域から教育活動や学校運営に対する理解と協力を得て信頼される学校づくりを推進することがあります。本年度は、開校40周年記念という大きな旗を掲げ教育活動を展開してまいりました。今回のアンケート結果から、本年度は、保護者、地域の皆様の温かいご理解ご協力により、例年以上に成果を上げられた一年であったと実感しております。ありがとうございました。残された課題につきましては引き続き改善・充実に努めて参りたいと考えております。

結びに、学校関係者評価委員会委員長吉野喜八様をはじめ委員の皆様、またご多用の中、アンケートへご協力いただきました保護者、地域の皆様に心よりお礼を申し上げます。今後も本校教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 学校自己評価について

### 1 学校の教育活動について

本校の教育目標は、「自ら学ぶ子、思いやりのある子、たくましい子」である。平成26年度は、目指す学校像を「夢と希望と感動をはぐくみ、子どもが輝く学校」とした。そして、今年度の努力点を8つ設定し、1年間取り組んできた。今年度の努力点は、①学校教育目標の具現化を図る魅力ある学年・学級経営の推進 ②学ぶことの楽しさやできた喜びを実感させる学習指導の充実 ③豊かな心をはぐくむ教育と指導体制の充実(「思いやりのある子」の具現化) ④豊かなかかわり合いをはぐくむ教育の充実 ⑤体力向上・健康教育の充実(「たくましい子」の具現化) ⑥安全・安心で潤いのある教育環境づくり ⑦保護者・地域との連携を深め、開かれた学校づくりの一層の推進 ⑧校内研修の充実と基礎体力と機動力のある組織 の8点である。

今年度は、地域・保護者の皆様からこれら8項目中7項目で高い評価をいただいた。保護者アンケートでは24の評価項目中「そう思う」「まあまあそう思う」の割合が90%を超えたものが昨年度の20項目から22項目となった。また、その割合が95%を超えたものも9項目から13項目となった。特に高かったのは、「学校教育目標の実現に関する項目」「自然や本と触れ合う教育活動」「学校公開や授業参観、学校行事の実施状況」や「防災・防犯に関する指導」「友達と仲良く生活している」「学校が好きで喜んで登校している」等の項目であった。昨年度最も低かった「あいさつ」についても、昨年度の83.6%から90.1%に増加した。さらに児童アンケートでも、15の評価項目すべてで「そう思う」の割合が昨年度を上回り、「まったくそうは思わない」の割合は昨年度より減少した。

今後、他の項目に比べると評価がやや低かった学習指導に関する項目について改善・充実に取り組んでいく必要がある。

### 2 教職員及び児童(生徒)、保護者等による評価結果

#### (1) 達成することができた項目

- ①学校教育目標の具現化を図る魅力ある学年・学級経営の推進
- ③豊かな心をはぐくむ教育と指導体制の充実(「思いやりのある子」の具現化)
- ④豊かなかかわり合いをはぐくむ教育の充実
- ⑤体力向上・健康教育の充実(「たくましい子」の具現化)
- ⑥安全・安心で潤いのある教育環境づくり
- ⑦保護者・地域との連携を深め、開かれた学校づくりの一層の推進
- ⑧校内研修の充実と基礎体力と機動力のある組織

#### (2) 達成することができなかった項目

- ②学ぶことの楽しさやできた喜びを実感させる学習指導の充実

※あいさつについては、児童および教職員の評価では達成できていない。また、保護者の評価でも、記述評価によると達成しているとは言い難い。

### 3 改善策

- 日々の学習指導の改善と充実
  - ・単元導入部分、問題提示方法の工夫・改善
  - ・発達段階に応じた体験的活動の導入
  - ・グループ学習や発表活動など、学び合う学習、伝え合う学習の一層の充実
  - ・学習内容の明確化と見届け、評価の徹底
  - ・少人数指導、小集団指導、ティームティーチングなど指導形態の工夫、改善
  - ・個に応じた指導にかかる取り組みの保護者・地域への積極的な情報発信
  - ・授業参観での少人数指導やティームティーチングの実施
- 「あいさつ運動」の継続指導
  - ・あいさつ標語をクラスごとに作成し掲示する。
  - ・各クラスごとの取り組みを実施し、あいさつ実践事例集を作成する。
  - ・あいさつ強化月間を設定する。
  - ・あいさつ振り返りシートを配付し、家庭と連携しての取り組みを推進する。
  - ・家庭での振り返りチェックシート等を作成し、家庭への協力要請を推進する。

## 学校関係者評価について（学校関係者評価委員長 吉野喜八）

### 1 学校関係者評価の実施体制

#### (1) 構成人数 5人

- ・PTA会長1名、民生委員1名、民生児童委員（前PTA会長）1名、児童館館長1名、後援会会長兼自治会長1名、

#### (2) 実施回数

- 委員会2回（第1回平成26年6月24日（火）、第2回平成27年2月17日（火））
- 授業参観等（学校公開、校内音楽会、研究発表会）
- 学校評価集計（保護者・地域・教職員・児童）・学校自己評価書 参考

### 2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- ①学校評価の参考となるアンケートが、地域・保護者、教職員と共通となったことで評価の視点が定まり、また経年変化をとらえやすくなった。
- ②児童アンケートからはすべての評価項目で「そう思う」が昨年度を上回り、適切な指導が行われていると評価できる。
- ③保護者アンケートでは、学校経営の「8つの努力目標」が、アンケートのどの部分に対応しているのかが示されていてわかりやすい。保護者アンケートの結果からも昨年を上回る肯定的な回答が増えたことは評価できる。
- ④保護者アンケートでは、「質問項目8」、「質問項目9」の2項目は90%に届いておらず、一方、教職員アンケートからはそれぞれ、「質問項目8」が96.2%、「質問項目9」は100%と評価が分かれるなど認識に違いがある。改善の必要があるのでは。
- ⑤教職員アンケートからは、「質問項目4」が低く63.0%となっているが、具体的な理由を明らかにし対応を。
- ⑥教職員アンケートからは、「あいさつ」についてが、今後の課題とする意見が多かった。学校関係者評価委員からは、以前よりも「あいさつ」は出来るようになってきているが、「知らない人」には大人でもしない、との意見もあり、評価の難しさがあるのでは。また、大人でも「あいさつ」ができない人がいる。家庭と連携した取り組みなどの必要性についての指摘もあった。

## 学校関係者評価を受けた学校の対応について

- 保護者アンケート「学校では、コンピュータ、大型テレビ、書画カメラ等を使った授業を工夫している。」については、グループ学習や発表活動など、学び合う学習、伝え合う学習の一層の充実を図る中で、ICT機器活用機会を増やしてまいります。
- 保護者アンケート「学校では、一人ひとりの児童を理解の程度に応じた指導形態の工夫によるきめ細かな指導を行っている。」については、少人数指導、小集団指導、ティームティーチングなど指導形態の工夫・改善をさらに進めるとともに、授業参観等で公開を進める等、保護者・地域への情報発信も積極的に行ってまいります。
- あいさつについては、元気なあいさつや誰にでもあいさつを目標に、あいさつ強化月間や、なかよし学級でのあいさつ運動等を継続していくなかで、子どもたちの意欲の向上や意識の変容を図っていくとともに、「(あいさつ)振り返りチェックシート」などを学級懇談会等で紹介し、保護者・家庭との連携等を進めてまいります。